

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	歴史はっけん事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化振興課
施策①	歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進	電話番号	0193-27-7567
施策②	歴史・文化の継承	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和2年度～令和8年度		
事業の概要			
釜石市に埋もれた歴史や文化財を発見又は再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに広くまちづくり等に活用するため、歴史文化に関する調査や、講演会等を実施する。なお、これまで協議会等で検討してきた「釜石市文化財保存活用地域計画」は令和6年7月に認定を受ける予定となっている。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸等の防止が課題となっており、指定文化財はもちろんのこと、未指定を含めた文化財をまちづくりに生かしつつ、その継承に取り組む必要がある。	
目的	
釜石市の歴史史料や文化財を把握し、次世代に伝え継承するとともに、これらの保管場所を確保する。また、文化財を活用した地域アイデンティティの構築や交流人口の創出につながる取り組みを実施する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①岩手大学や周辺市町村の協力を頂きながら、市内の歴史史料や文化財の把握に努める。②市民の歴史史料や文化財に係る意識を把握するため、アンケート調査を行う。③釜石市文化財保存活用地域計画を作成し、計画的な歴史文化の継承と、保存活用手法を構築する。④学校や生活応援センター、観光交流課等と連携するため協議の場を設ける。⑤HPやポスター、チラシ、パンフレットで広報活動を行う。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
5,942 千円	6,220 千円	3,522 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
本事業により釜石市内のすべての歴史や文化財の調査結果を精密なものとし、また、「釜石市文化財保存活用地域計画」を策定により、文化財の適切な保護・活用を検討していくことは、地域の文化財に対する理解や主体性が生まれ、交流人口の拡大へとつながることも期待できることから継続実施として判断した。業務の効率化については引き続き検討されたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	屋形貝塚保存活用事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	文化振興課
施策①	歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進	電話番号	27-7567
施策②	埋蔵文化財の調査	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
屋形遺跡は唐丹町大石地区に所在し、令和3年3月に国の史跡に指定された。史跡を長期的に整備・保存活用・周知等の各種施策を展開していくため、史跡整備計画等の策定に取り組むもの。また、範囲内要確認調査、遺跡見学会や発掘体験など史跡の調査及び周知活用事業を実施する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
屋形遺跡が国史跡となったことから、その価値にふさわしい活用を見出す必要がある。史跡整備計画を策定することで、市民と遺跡の価値の共有を図りつつ、より活用しやすい史跡としての在り方を追求していくことが求められる。	
目的	
釜石市の歴史・文化視点の魅力を掘り起こし、唐丹町をはじめ市民への還元を目的とする。そのために郷土に誇りを持ち、交流人口の増加や地域の活性化を図る素材として、屋形遺跡が活用される状況を目指す。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①地域住民と有識者による史跡整備計画の策定を行う。 ②郷土資料館や市民ホールなどで周知活動を実施する。 ③学びの場としての体験学習や、生涯学習出前講座など通して地域への還元を行う。 ④史跡整備を行うため継続的な範囲内用確認調査を実施し、最新情報・詳細情報を発信していく。 ⑤史跡整備を進め、史跡範囲の土地について譲渡・購入を進めていく。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
11,339 千円	10,020 千円	10,020 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
屋形遺跡の保存・活用・整備等の方向性を市民に示すためにも史跡整備計画策定に向けた事業は引き続き実施すべきである。また、遺跡の価値を更に高めるためにも遺物の同定作業にかかる自然科学分析や遺物の二次元化を進める遺物実測についても引き続き実施されたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	橋野高炉跡修復・公開活用事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	世界遺産課
施策①	橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進	電話番号	0193-22-0005
施策②	橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山を適切に保存整備し、後世に残していくとともに、史跡に関する理解増進を図る必要があることから、平成30年「橋野鉄鉱山の保存・整備活用に関する計画」を策定した。平成31年度から二番高炉ブロックを対象に範囲内容確認調査、石垣修復、見学道の整備、遺構表示を実施することとしている。令和6年度から見学道の整備を行う。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化で石垣等が崩落する恐れがある。</li> <li>・橋野高炉跡を見学しても当時の状況がわかりにくい。</li> <li>・どこが遺構かわからない。</li> </ul>
目的
<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋野高炉跡を適切に保存・修復・整備し、後世に残していくとともに理解増進を図っていく。</li> <li>・明確な遺構の位置と用途の理解の増進を図る。</li> </ul>

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>橋野高炉跡の遺構の保護及び理解増進を図るため視覚的に理解しやすい遺構表示等を行う（今期は二番高炉ブロックが対象）。</p> <p>①石垣の修復（水路石垣・平場石垣・長屋跡石垣）                  ②遺構表示及び見学道の整備（範囲内容確認調査成果に基づく）                  ③解説板等の設置</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
27,361 千円	44,000 千円	11,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>来訪者の安全性や満足度を高めることは世界遺産としての価値の向上、交流人口の拡大が期待できるため、実施が必要な事業だと判断される。令和7年度に迎える世界遺産10周年に向け、見学道の整備を行うことは市内全体の地域活性化や機運醸成につながることから、地元意見を踏まえた上で慎重に実施されたい。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	橋野鉄鉱山インフォメーションセンター共通展示整備事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	世界遺産課
施策①	橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進	電話番号	0193-22-8846
施策②	世界遺産関連施設の適切な管理運営	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和7年度		
事業の概要			
<p>橋野鉄鉱山インフォメーションセンターは、世界遺産登録前の平成25年11月に橋野鉄鉱山のビジターセンターとして開所した。橋野鉄鉱山及び明治日本の産業革命遺産の概要を映像や解説パネルで紹介している。ビジターセンターにユネスコ勧告に基づく23構成資産を紹介する共通展示（映像装置等）を新たに設置する。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋野鉄鉱山を見学しても当時の状況がわかりにくい。</li> <li>・世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産としての「橋野鉄鉱山」の説明が不十分である。</li> <li>・23構成資産全体が理解できない。</li> </ul>
目的
<p>来館者が「橋野鉄鉱山」の全容を理解できるとともに、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産全体が理解できる。</p>

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>「橋野鉄鉱山」及び世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の理解増進を図るため視覚的に理解しやすい展示を行うとともに、産業遺産情報センター及び各エリアのビジターセンターと連携した共通展示を行う。</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
3,465 千円	45,909 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>ユネスコ勧告に基づいた各サイトの一体的な取組であること。また、実施により交流人口の増加や地域アイデンティティの醸成が期待できることから実施するべきである。また、世界遺産としての総合的な価値を更に高めるためにも既存施設の規格にあった展示を実施されたい。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	鉄の歴史館改修事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興	担当課	世界遺産課
施策①	橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進	電話番号	0193-22-8846
施策②	世界遺産関連施設の適切な管理運営	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和8年度		
事業の概要			
鉄の歴史館は当市の製鉄や鉱山の歴史文化を学習する施設として、本館は昭和60年（築後38年）、新館は平成6年（築後29年）にオープンしている。両館とも経年劣化による老朽化があることから、来館者の安全で快適な施設見学を確保するため、本館の外壁補修及びエレベーターの更新を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
施設の老朽化が進んでいることから、重大な故障や破損する前に、適切な更新を行い来館者に安全で快適な施設環境を提供する。 世界遺産登録後に、橋野鉄鉱山の発掘調査を進めたことにより、遺物が増加し整理及び保管場所が不足している。見学場所を遺物等の保管場所としている状況にある。	
目的	
鉄の歴史館の改修により、来館者の安全で快適な施設環境を整えるとともに、橋野鉄鉱山、旧釜石鉱山事務所などの関連施設と連携をして鉄の歴史・文化の発信に努める。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
【設計業務】外壁補修・EV比較検討 【建築工事】外壁補修工事・EV更新工事		
事業費		
R 6	R 7	R 8
3,058 千円	58,630 千円	85,261 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
来館者への印象、視覚的な部分や、釜石市の鉄の歴史を照会する代表的な施設であることから必要性は妥当である。また、健全調査から10年あまり修繕を行っていないことから計画的な修繕を実施されたい。			